

切り抜き

切り抜き



他の画面に貼り付けるために対象を形に沿って切り取ることで、合成写真に使用する時などに利用するものです。この機能の基本は「切り取る部分と残る部分の色・模様の違いから境界を判断する」ものですので、背景や対象がシンプルな色・模様の場合は簡単な操作で上手く切り抜き出来ますが、自然界の色模様は複雑ですから「きめ細かな操作」を必要とします。

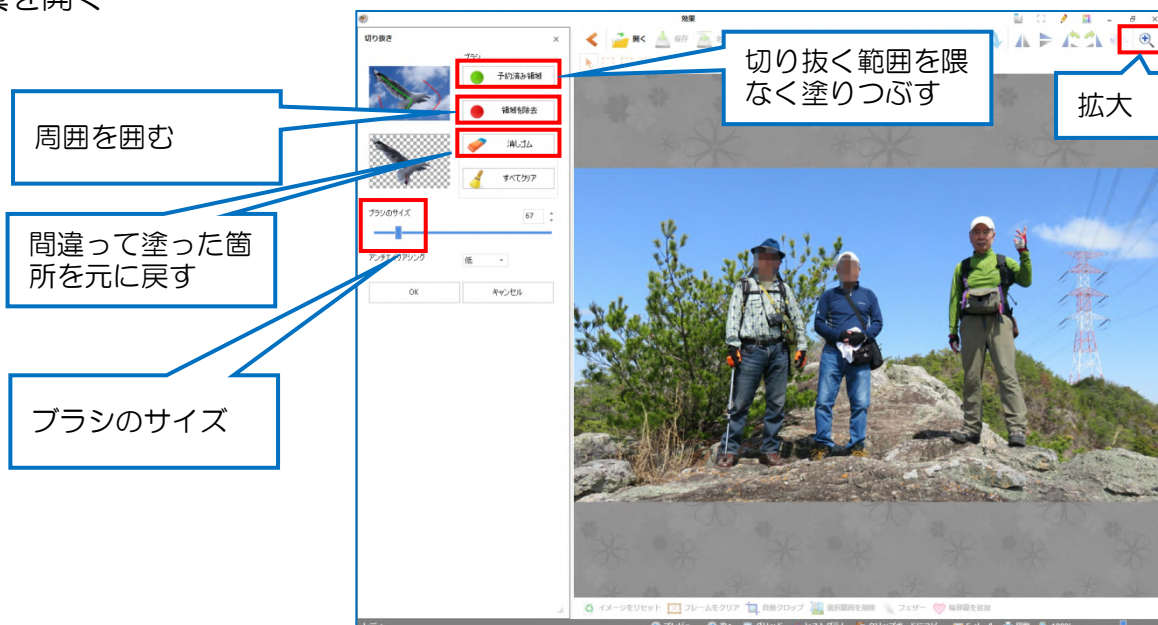
私が実際に利用した画像を元に説明します。4人グループの活動を1枚の写真に収めて送付とフォトムービーに利用したものです。



手順1：切り抜くことを意識して全身が写る位置に立って写してもらう

作業は撮影時点から始まるのです。意識しないと手や足が隠れてしまい、欠損体では合成写真には使えません。

手順2：写真を開く



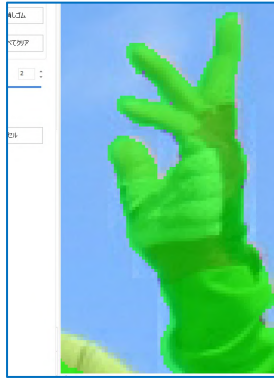
手順3：緑色で塗りつぶす

注意：画面を動かす時に何時ものクセで「画面をドラッグ」してしまうが、「塗りつぶし」になってしまいます。右&下のカーソル移動で行う必要があります。尚、塗りつぶしになった場合は「消しゴム」で消去します。

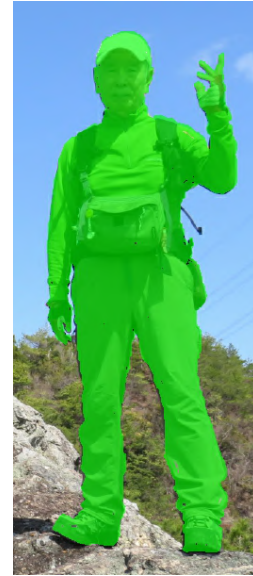
これではダメ



ブラシを2にして指先まで



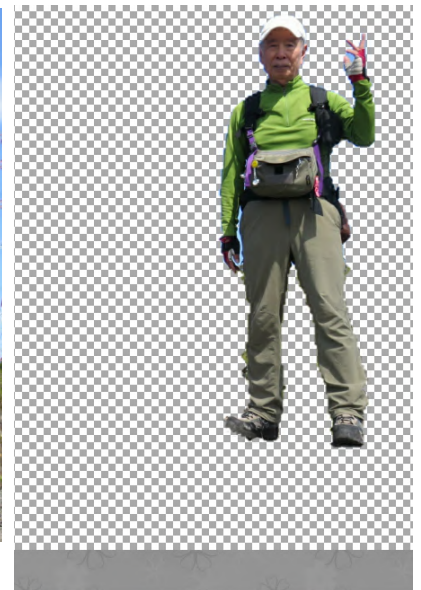
外側は細筆で内側は大筆で



手順4：外側を囲む

細かくやってみました！ が、指間・左手と右体の間が抜けていない！ これはソフトの限界です。気になる人はGIMPを使いましょう、ただし、手数多くもっとこまめにやる必要があります（[ここ](#)）。

作業途中を保存する機能はない。



手順5：保存

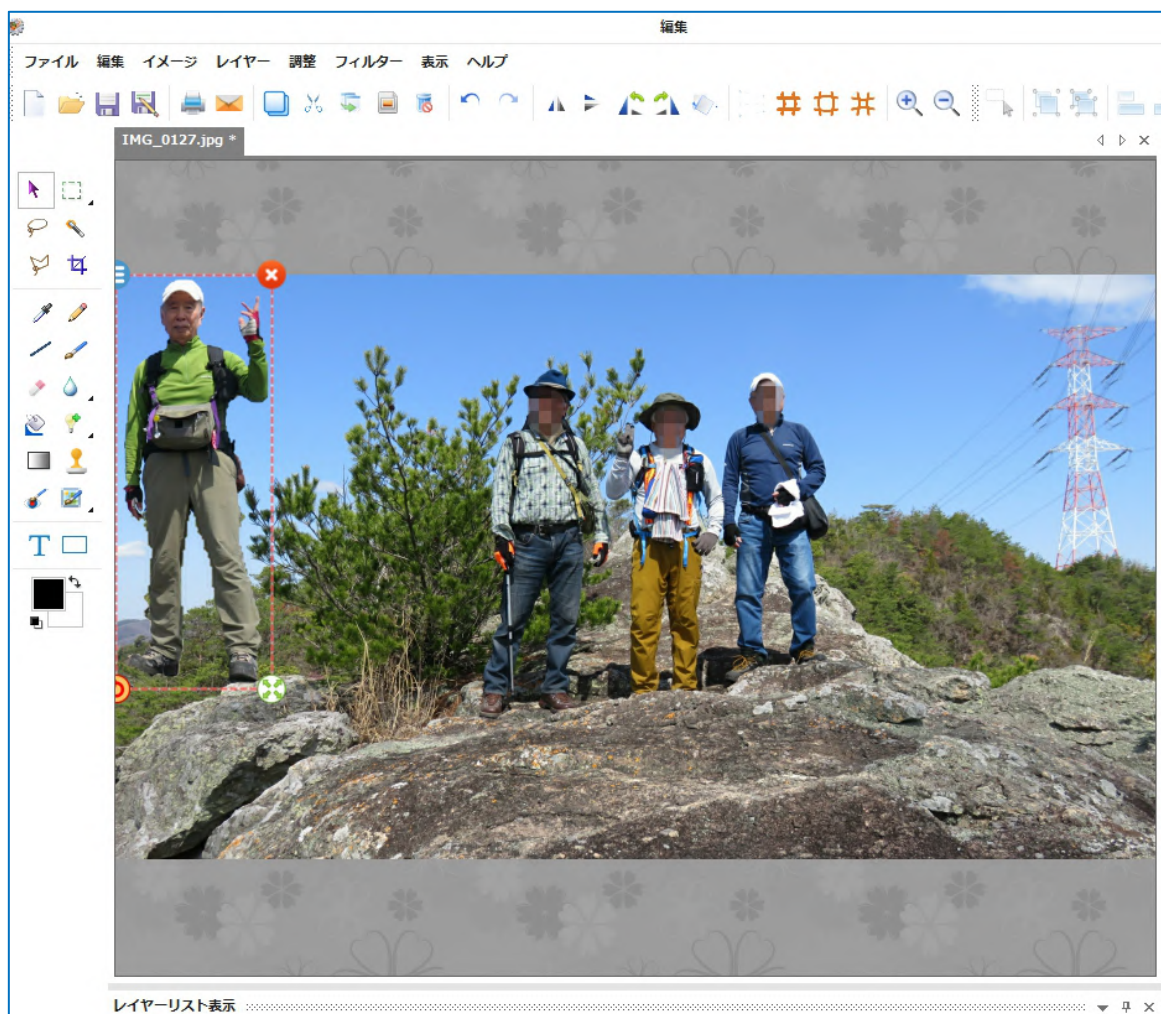
自動クロップをクリック
最小範囲でトリミングされる
拡張子 png で保存



手順6：合成

編集機能で合成する
切り抜いた画像を開き、クリップボード保存しておく

貼り付けた状態



ドラッグによる位置決めと大きさ合わせを行う

○を触るときは shift キー押してないと縦横比率が変わってしまうので注意！

良く見ると右足が宙に浮いているのですが、チョット見には気付かれないでしょう！



こんな形で切り抜き出来ましたこともあります

